



「いのちを守る道づくりフォーラム in 宮古」開催

2月3日(土)

「いのちの道路整備促進市民会議」と「明日を拓く宮古のみち女性の会」は、宮古市において国土交通省道路局長の宮田氏を招き、「真に必要な道がある「いのちを守る道づくりフォーラム in 宮古」」を開催しました。

このフォーラムには、鈴木衆議院議員や県知事、県土整備部長、宮古市長など国・県・市の関係者をはじめ、市民や道づくり活動に携わる女性団体など400人余りが出席しました。

冒頭主催者の市民会議会長が、地震・津波災害時には国道45号が寸断され、孤立する地域が出てくるとの危惧を示した上で、「高規格道路は連結してこそ機能を発揮するもの。安全安心な社会に向け、ともに整備促進を働きかけていきたい」と挨拶しました。

来賓の挨拶として鈴木衆議院議員からは「道路は生活そのもの。力を結集して一歩ずつ前進しよう」と呼びかけました。知事は「道路特定財源の堅持は地域に根づいた市民の熱気で」と訴え、宮古市長からは「道路はつながってはじめて、命を守ることができる」と強調しました。



増田知事



熊坂市長



宮田道路局長

そして「これからの道づくり～安全・安心・暮らし～」をテーマに宮田道路局長から講演をいただきました。講演では、地方の実態を指摘し三陸縦貫自動車道などの道路網が完成した場合の整備効果を紹介した上で、道路特定財源に触れ「地方の安全、安心、暮らしの向上に道路はまだ必要。財源堅持へ向け、地方の実情を伝えるため、ぜひ声を上げてほしい」と結びがありました。

意見発表では、宮古高校3年生の代表から時間距離の短縮や津波災害・救急救命に備えた道路整備の必要性が訴えられました。

最後に、均衡ある高規格交通体系の確立などを盛り込んだ大会宣言も採択されフォーラムは盛会裏に終了しました。



つなげよう！ 命の道路

問い合わせ先 宮古地方振興局土木部 TEL 0193-64-2221